

社団法人全国公立文化施設協会 設立趣意書

平成7年6月19日

今日のわが国は、社会経済環境の加速度的な変化と科学技術の進展にともない、国際化、高齢化、高度情報化社会が到来し、生活様式が近代化し、価値感が多様化している。

このなかにあって、人々が生きがいを持ち、健康で文化的な生活を送るために、芸術文化の果たす役割が益々大きくなり、その振興が強く求められている。

全国公立文化施設協議会は音楽、演劇、舞踊、映画その他文化的行事を催すための公立文化施設を結集した全国組織として今日まで情報交換、調査研究、研修、公演の共同企画等の諸活動を行い、公立文化施設が地域文化向上の拠点としてその機能を発揮する一助となるよう努めてきた。

しかし、任意団体としての活動でありその点で不十分さはいなめないところであった。

今日、文化ニーズの高まりもあり、公立文化施設が数多く整備されてきたが、これからはこれらの施設の機能を十分に発揮させて地域文化の向上を図っていくことが最大の課題である。

そこで、これまでの全国公立文化施設協議会を母体に公益法人として「社団法人全国公立文化施設協会」を設立し、公立文化施設のネットワーク化と地域文化振興の組織的取組みの強化を図り、もって、わが国の芸術文化の向上に寄与しようとするものである。